

Ⅱ 調査結果の概要

1. 発育状態

(1)身長・体重・座高の平均値

①身長

男子は、5～9、16、17歳で前年度の同年齢より高くなり、10～15歳では低くなった。女子は、6、9～11、13～15、17歳で前年度の同年齢より高くなり、7、8、12、16歳では低くなり、5歳は同値であった。10、11歳では、女子が男子を上回っている。

②体重

男子は、7～10、13、16歳で前年度の同年齢より増加し、5、11、12、15、17歳では減少、他の年齢は同値であった。女子は、6、9、12、13、15歳で前年度の同年齢より増加し、5、7、8、10、11、14、17歳では減少、16歳は同値であった。

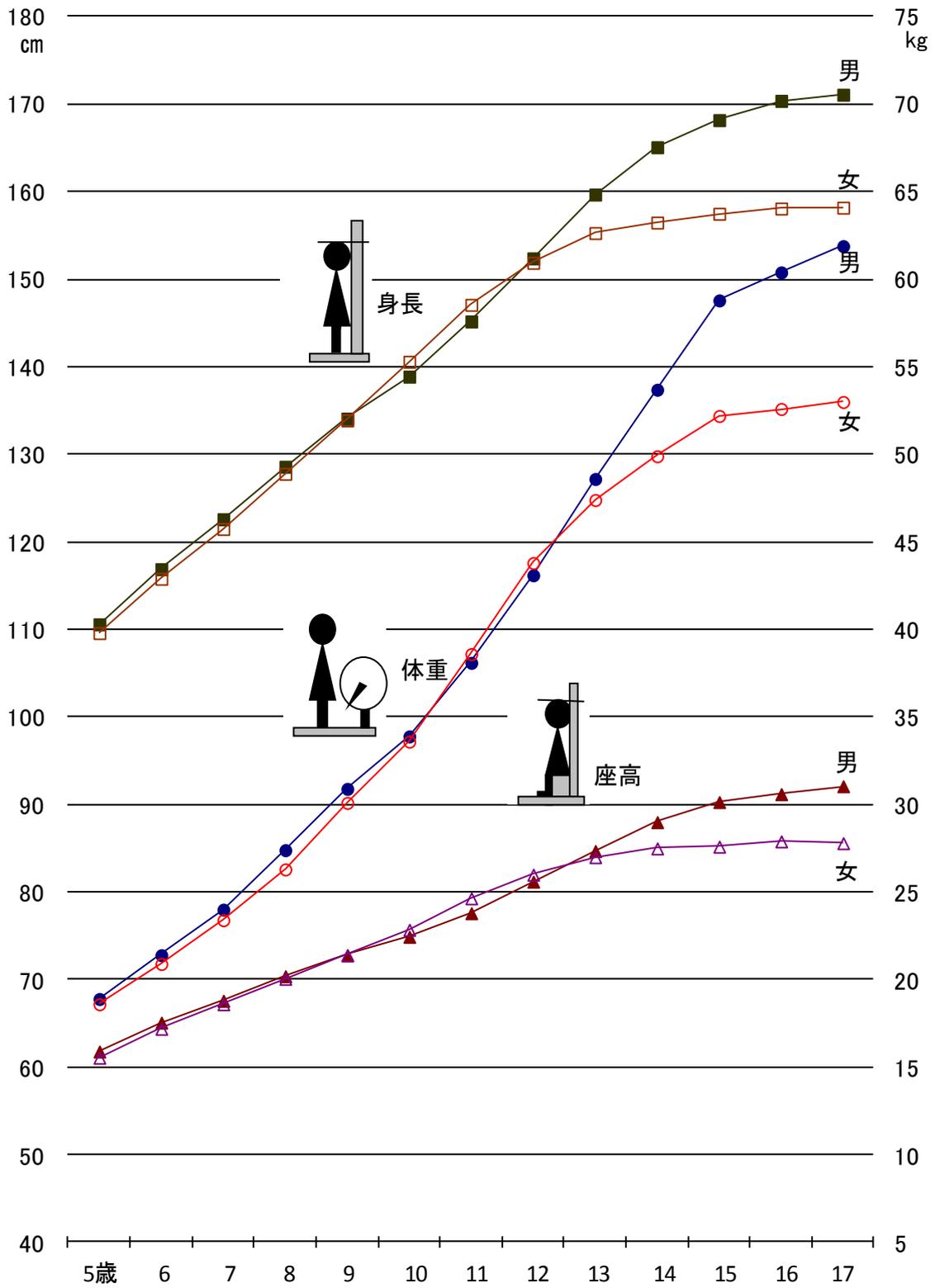
③座高

男子は、6、9、10、15、17歳で前年度の同年齢より高くなり、5、11～14、16歳では低くなり、他の年齢は同値であった。女子は、11、13歳で前年度の同年齢より高くなり、5、7、8、10、12、15～17歳では低くなり、他の年齢は同値であった。

表1 身長・体重・座高の千葉県平均値

区分			身長(cm)			体重(kg)			座高(cm)		
			平成 27年度	平成 26年度	差	平成 27年度	平成 26年度	差	平成 27年度	平成 26年度	差
男	幼稚園	5歳	110.6	110.5	0.1	18.9	19.1	△ 0.2	61.8	61.9	△ 0.1
		小学校	6	116.9	116.5	0.4	21.4	21.4	0.0	65.1	64.8
	7		122.6	122.4	0.2	24.0	23.7	0.3	67.6	67.6	0.0
	8		128.6	128.4	0.2	27.4	27.1	0.3	70.4	70.4	0.0
	9		134.1	134.0	0.1	30.9	30.8	0.1	72.8	72.7	0.1
	10		138.9	139.2	△ 0.3	33.9	33.8	0.1	74.9	74.8	0.1
	11		145.2	145.5	△ 0.3	38.1	38.7	△ 0.6	77.6	77.7	△ 0.1
	中学校	12	152.4	152.9	△ 0.5	43.1	44.1	△ 1.0	81.2	81.4	△ 0.2
		13	159.7	159.9	△ 0.2	48.6	48.5	0.1	84.7	84.9	△ 0.2
		14	165.1	165.3	△ 0.2	53.7	53.7	0.0	88.0	88.2	△ 0.2
	高等学校	15	168.2	168.4	△ 0.2	58.8	59.1	△ 0.3	90.3	90.0	0.3
		16	170.4	170.2	0.2	60.4	59.8	0.6	91.2	91.3	△ 0.1
		17	171.1	170.9	0.2	61.9	62.6	△ 0.7	92.1	91.9	0.2
	女	幼稚園	5歳	109.6	109.6	0.0	18.6	18.8	△ 0.2	61.1	61.4
小学校			6	115.8	115.7	0.1	20.9	20.8	0.1	64.4	64.4
		7	121.5	121.9	△ 0.4	23.4	23.6	△ 0.2	67.2	67.3	△ 0.1
		8	127.8	128.0	△ 0.2	26.3	26.7	△ 0.4	70.1	70.2	△ 0.1
		9	133.9	133.8	0.1	30.1	29.9	0.2	72.8	72.8	0.0
		10	140.6	140.3	0.3	33.6	34.0	△ 0.4	75.7	75.8	△ 0.1
		11	147.1	146.8	0.3	38.6	38.9	△ 0.3	79.3	79.2	0.1
中学校		12	151.9	152.0	△ 0.1	43.8	43.2	0.6	82.0	82.2	△ 0.2
		13	155.3	154.9	0.4	47.4	47.3	0.1	84.0	83.8	0.2
		14	156.5	156.3	0.2	49.9	50.0	△ 0.1	85.0	85.0	0.0
高等学校		15	157.5	157.2	0.3	52.2	51.3	0.9	85.2	85.6	△ 0.4
		16	158.1	158.5	△ 0.4	52.6	52.6	0.0	85.8	85.9	△ 0.1
		17	158.2	157.8	0.4	53.0	53.5	△ 0.5	85.6	85.8	△ 0.2

図1 体位の性別比較(平成27年度千葉県)



(2)親の世代（30年前：昭和60年度）との比較

①身長

男子は、5歳で親の世代を下回り、7歳では同値で、他の年齢では親の世代を上回っており、12歳で最も差が大きかった。女子は、5～7歳で親の世代を下回ったが、他の年齢では親の世代を上回っており、10歳で最も差が大きかった。

②体重

男子は、5、16、17歳で親の世代を下回り、6、7歳では同値で、他の年齢では親の世代を上回っており、9、11歳で最も差が大きかった。女子は、5、7、14、15歳で親の世代を下回り、6、8歳では同値で、他の年齢では親の世代を上回っており、13歳で最も差が大きかった。

③座高

男子は、5～7歳で親の世代を下回り、他の年齢では親の世代を上回っており、17歳で最も差が大きかった。女子は、5～7歳で親の世代を下回ったが、他の年齢では親の世代を上回っており、11、13、16歳で最も差が大きかった。

表2 身長・体重・座高の30年前との比較

区分			身長(cm)			体重(kg)			座高(cm)		
			平成 27年度	昭和 60年度	差	平成 27年度	昭和 60年度	差	平成 27年度	昭和 60年度	差
男	幼稚園	5歳	110.6	111.1	△ 0.5	18.9	19.3	△ 0.4	61.8	62.7	△ 0.9
		小学校	6	116.9	116.7	0.2	21.4	21.4	0.0	65.1	65.2
	7		122.6	122.6	0.0	24.0	24.0	0.0	67.6	67.9	△ 0.3
	8		128.6	128.0	0.6	27.4	26.9	0.5	70.4	70.3	0.1
	9		134.1	132.6	1.5	30.9	29.4	1.5	72.8	72.1	0.7
	10		138.9	137.9	1.0	33.9	33.8	0.1	74.9	74.5	0.4
	11		145.2	143.5	1.7	38.1	36.6	1.5	77.6	76.8	0.8
	中学校	12	152.4	150.5	1.9	43.1	42.1	1.0	81.2	80.1	1.1
		13	159.7	158.1	1.6	48.6	47.5	1.1	84.7	83.8	0.9
		14	165.1	163.9	1.2	53.7	52.9	0.8	88.0	86.7	1.3
	高等学校	15	168.2	167.7	0.5	58.8	58.6	0.2	90.3	89.2	1.1
		16	170.4	169.4	1.0	60.4	60.7	△ 0.3	91.2	90.0	1.2
		17	171.1	170.4	0.7	61.9	62.0	△ 0.1	92.1	90.6	1.5
女	幼稚園	5歳	109.6	109.9	△ 0.3	18.6	18.9	△ 0.3	61.1	62.1	△ 1.0
		小学校	6	115.8	116.0	△ 0.2	20.9	20.9	0.0	64.4	64.7
	7		121.5	121.9	△ 0.4	23.4	23.5	△ 0.1	67.2	67.5	△ 0.3
	8		127.8	127.1	0.7	26.3	26.3	0.0	70.1	69.8	0.3
	9		133.9	133.0	0.9	30.1	29.6	0.5	72.8	72.3	0.5
	10		140.6	138.6	2.0	33.6	33.1	0.5	75.7	75.0	0.7
	11		147.1	145.5	1.6	38.6	38.2	0.4	79.3	78.4	0.9
	中学校	12	151.9	150.7	1.2	43.8	42.7	1.1	82.0	81.2	0.8
		13	155.3	154.2	1.1	47.4	46.2	1.2	84.0	83.1	0.9
		14	156.5	156.3	0.2	49.9	50.1	△ 0.2	85.0	84.3	0.7
	高等学校	15	157.5	157.0	0.5	52.2	52.4	△ 0.2	85.2	84.9	0.3
		16	158.1	157.3	0.8	52.6	52.5	0.1	85.8	84.9	0.9
		17	158.2	157.9	0.3	53.0	52.5	0.5	85.6	84.9	0.7

(3)年間発育量（17歳：平成9年度生まれ）

①身長

男子では、12歳時で7.6cmと最大の発育量を示している。

女子では、10歳時で6.7cmと最大の発育量を示している。

最大発育量を示す年齢は、女子は男子に比べ2歳早くなっている。

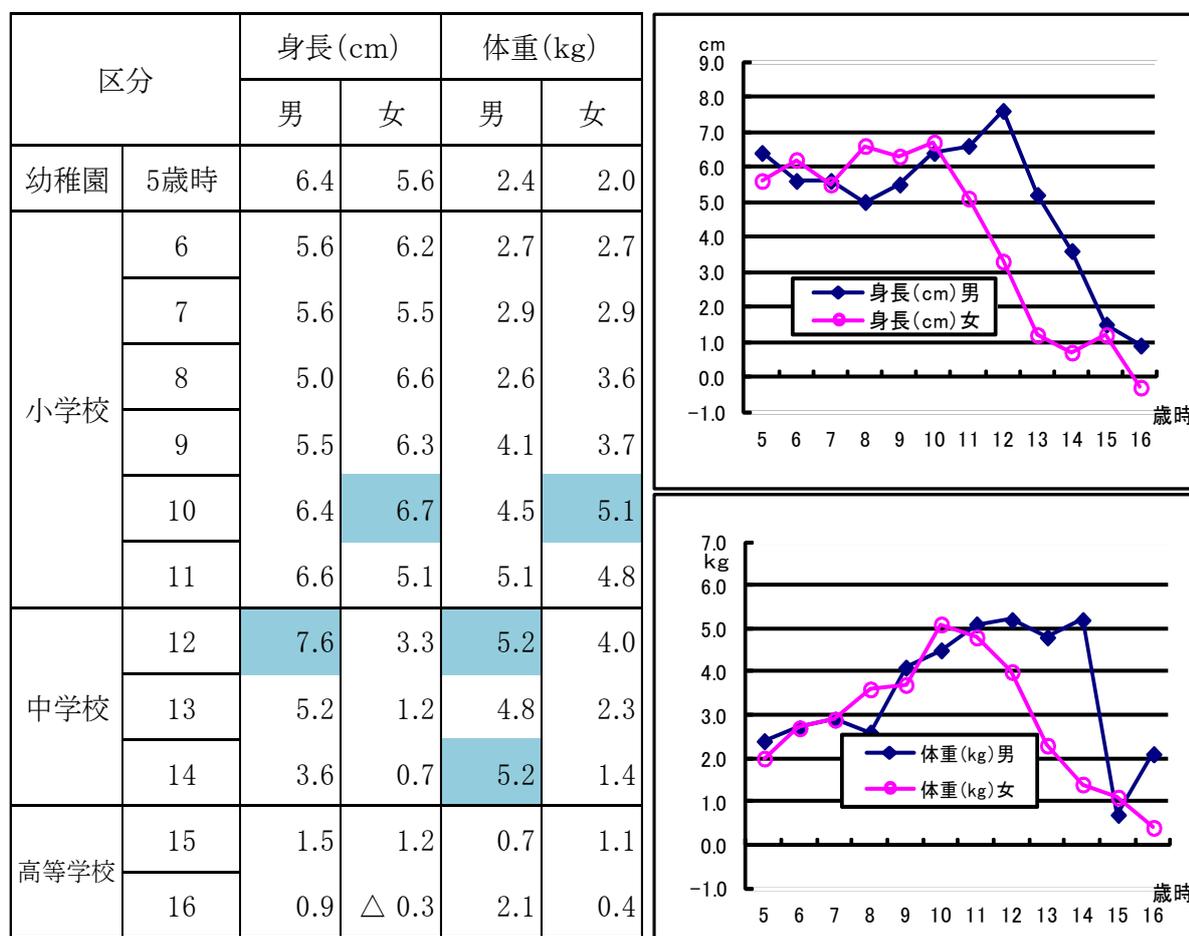
②体重

男子では、12歳及び14歳時で、5.2kgと最大の発育量を示している。

女子では、10歳時で、5.1kgと最大の発育量を示している。

最大発育量を示す年齢は、女子は男子に比べ2歳早くなっている。

表3 17歳（平成9年度生まれ）の発育量



(注)1 年間発育量とは、例えば、17歳(平成9年度生まれ)の「5歳時」の年間発育量は、平成16年度調査6歳の者の身長から平成15年度調査5歳の者の身長を引いた数値である。

(注)2 網掛け部分は、最大の年間発育量を示す。

(4)全国平均値との比較

①身長

男子は、12、13、15歳で全国平均値を下回り、10、11、14歳は全国平均値と同値、他の年齢では上回っている。女子は、7、14歳は同値、他の年齢では上回っている。

②体重

男子は、10～17歳で全国平均値を下回り、5歳は同値、他の年齢では上回っている。女子は、8、10、11歳で全国平均値を下回り、7、14、16、17歳は同値、他の年齢では上回っている。

③座高

男子は、11～16歳で全国平均値を下回り、5、7、10、17歳は同値、他の年齢では上回っている。女子は、5、10、12、15、17歳で全国平均値を下回り、6、7歳は同値、他の年齢では上回っている。

表4 身長・体重・座高の全国平均値との比較

区分			身長(cm)			体重(kg)			座高(cm)		
			千葉県	全国	差	千葉県	全国	差	千葉県	全国	差
男	幼稚園	5歳	110.6	110.4	0.2	18.9	18.9	0.0	61.8	61.8	0.0
		小学校	6	116.9	116.5	0.4	21.4	21.3	0.1	65.1	64.8
	7		122.6	122.5	0.1	24.0	23.9	0.1	67.6	67.6	0.0
	8		128.6	128.1	0.5	27.4	26.9	0.5	70.4	70.2	0.2
	9		134.1	133.5	0.6	30.9	30.4	0.5	72.8	72.6	0.2
	10		138.9	138.9	0.0	33.9	34.0	△ 0.1	74.9	74.9	0.0
	11		145.2	145.2	0.0	38.1	38.2	△ 0.1	77.6	77.7	△ 0.1
	中学校	12	152.4	152.6	△ 0.2	43.1	43.9	△ 0.8	81.2	81.4	△ 0.2
		13	159.7	159.8	△ 0.1	48.6	48.8	△ 0.2	84.7	85.1	△ 0.4
		14	165.1	165.1	0.0	53.7	53.9	△ 0.2	88.0	88.2	△ 0.2
	高等学校	15	168.2	168.3	△ 0.1	58.8	59.0	△ 0.2	90.3	90.4	△ 0.1
		16	170.4	169.8	0.6	60.4	60.6	△ 0.2	91.2	91.4	△ 0.2
		17	171.1	170.7	0.4	61.9	62.5	△ 0.6	92.1	92.1	0.0
	女	幼稚園	5歳	109.6	109.4	0.2	18.6	18.5	0.1	61.1	61.3
小学校			6	115.8	115.5	0.3	20.9	20.8	0.1	64.4	64.4
		7	121.5	121.5	0.0	23.4	23.4	0.0	67.2	67.2	0.0
		8	127.8	127.3	0.5	26.3	26.4	△ 0.1	70.1	69.9	0.2
		9	133.9	133.4	0.5	30.1	29.7	0.4	72.8	72.7	0.1
		10	140.6	140.1	0.5	33.6	33.9	△ 0.3	75.7	75.8	△ 0.1
		11	147.1	146.7	0.4	38.6	38.8	△ 0.2	79.3	79.2	0.1
中学校		12	151.9	151.8	0.1	43.8	43.6	0.2	82.0	82.1	△ 0.1
		13	155.3	154.9	0.4	47.4	47.3	0.1	84.0	83.9	0.1
		14	156.5	156.5	0.0	49.9	49.9	0.0	85.0	84.9	0.1
高等学校		15	157.5	157.1	0.4	52.2	51.5	0.7	85.2	85.5	△ 0.3
		16	158.1	157.6	0.5	52.6	52.6	0.0	85.8	85.7	0.1
		17	158.2	157.9	0.3	53.0	53.0	0.0	85.6	85.9	△ 0.3

2. 健康状態

(1) 疾病・異常の被患率等別状況

幼稚園、小学校及び高等学校では「むし歯（う歯）」の比率が最も高く、中学校では「裸眼視力 1.0 未満の者」の比率が最も高くなっている。

また、「むし歯（う歯）」「裸眼視力 1.0 未満の者」以外は、幼稚園では「歯列・咬合」、「ぜん息」、小学校、中学校及び高等学校では「鼻・副鼻腔疾患」の比率が最も高くなっている。

表 5 疾病・異常の被患率等別状況

区 分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
50%以上～60%未満		むし歯（う歯）	裸眼視力1.0未満の者		
40～50			むし歯（う歯）	むし歯（う歯）	
30～40	むし歯（う歯）	裸眼視力1.0未満の者			
20～30					
10～20		鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患	
1 } 10	8～10		その他の歯・口腔疾病・異常		
	6～8		ぜん息 耳疾患		
	4～6		眼の疾病・異常 歯列・咬合	眼の疾病・異常 歯列・咬合 歯垢の状態 歯肉の状態 ぜん息 耳疾患 その他の歯・口腔疾病・異常	
	2～4	歯列・咬合 ぜん息 その他の歯・口腔疾病・異常 耳疾患 鼻・副鼻腔疾患	歯垢の状態 アトピー性皮膚炎 その他の疾病・異常	その他の疾病・異常 アトピー性皮膚炎	歯垢の状態 歯列・咬合 歯肉の状態 眼の疾病・異常 ぜん息 その他の疾病・異常 アトピー性皮膚炎
	1～2	アトピー性皮膚炎 その他の皮膚疾患 その他の疾病・異常 眼の疾病・異常	歯肉の状態 口腔咽喉頭疾患・異常 心電図異常	蛋白検出の者 心電図異常 せき柱・胸郭異常	心電図異常 耳疾患 蛋白検出の者 せき柱・胸郭異常
0.1 } 1	0.5～1	口腔咽喉頭疾患・異常	栄養状態異常 蛋白検出の者 言語障害 難聴 その他の皮膚疾患 心臓の疾病・異常	心臓の疾病・異常	その他の歯・口腔疾病・異常
	0.1～0.5	心臓の疾病・異常 蛋白検出の者 歯垢の状態 栄養状態異常 せき柱・胸郭異常 言語障害	腎臓疾患 せき柱・胸郭異常 顎関節	口腔咽喉頭疾患・異常 難聴 顎関節 栄養状態異常 腎臓疾患 尿糖検出の者 その他の皮膚疾患 言語障害	顎関節 心臓の疾病・異常 難聴 栄養状態異常 尿糖検出の者 腎臓疾患 口腔咽喉頭疾患・異常
0.1未満	腎臓疾患 顎関節	結核 尿糖検出の者 寄生虫卵保有者	結核	言語障害 結核	

(注) 1. 疾病・異常被患率の標準誤差が5以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満または回答校が1校以下であるときは統計数値が公表されていない。

- 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、へんとう肥大、咽頭炎、へんとう炎、音声言語異常のある者等である。
- 「その他の歯・口腔疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等のある者である。
- 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。
- 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。
- 「蛋白検出の者」とは、尿検査のうち、蛋白第1次検査の結果、尿中に蛋白が検出(陽性(+)以上)又は擬陽性(±)と判定された者である。
- 「尿糖検出の者」とは、尿検査のうち、糖第1次検査の結果、尿中に糖が検出(陽性(+)以上)と判定された者である。

(2)主な疾病・異常等の推移及び全国平均値との比較

疾病・異常等のうち主なものについて、全国平均値との比較をみると

- ・「むし歯（う歯）」の比率は、幼稚園、小学校及び高等学校で全国平均値を下回り、中学校では上回った。
- ・「裸眼視力（1.0未満）」の比率は、小学校、中学校で全国平均値を下回った。
- ・「鼻・副鼻腔疾患」の比率は、幼稚園、小学校で全国平均値を下回り、中学校、高等学校では上回った。
- ・「ぜん息」の比率は、全ての学校種別で全国平均値を上回った。
- ・「心電図異常」の比率は、小学校、中学校及び高等学校で全国平均値を下回った。
- ・「蛋白検出」の比率は、小学校は同値であり、幼稚園、中学校、高等学校で全国平均値を下回った。

表6 主な疾病・異常の全国平均値との比較 (%)

区分	むし歯(う歯)			裸眼視力(1.0未満)			鼻・副鼻腔疾患			
	千葉県	全国	差	千葉県	全国	差	千葉県	全国	差	
幼稚園	23年	36.1	43.0	△ 6.9	X	25.5	…	5.6	4.4	1.2
	24年	40.9	42.9	△ 2.0	X	27.5	…	4.5	3.5	1.0
	25年	34.0	39.5	△ 5.5	X	24.5	…	1.5	3.4	△ 1.9
	26年	41.7	38.5	3.2	X	26.5	…	1.5	3.1	△ 1.6
	27年	34.6	36.2	△ 1.6	X	26.8	…	2.1	3.6	△ 1.5
小学校	23年	54.8	57.2	△ 2.4	29.9	29.9	0.0	11.2	12.5	△ 1.3
	24年	52.1	55.8	△ 3.7	30.2	30.7	△ 0.5	11.7	12.2	△ 0.5
	25年	53.3	54.1	△ 0.8	31.4	30.5	0.9	15.7	12.1	3.6
	26年	47.3	52.5	△ 5.2	30.8	30.2	0.6	11.6	12.3	△ 0.7
	27年	50.2	50.8	△ 0.6	30.2	31.0	△ 0.8	11.0	11.9	△ 0.9
中学校	23年	46.5	48.3	△ 1.8	56.8	51.6	5.2	14.0	11.8	2.2
	24年	45.7	45.7	0.0	51.7	54.4	△ 2.7	9.2	11.4	△ 2.2
	25年	46.4	44.6	1.8	53.2	52.8	0.4	15.7	11.1	4.6
	26年	39.2	42.4	△ 3.2	51.9	53.0	△ 1.1	12.3	11.2	1.1
	27年	41.0	40.5	0.5	51.7	54.1	△ 2.4	11.3	10.6	0.7
高等学校	23年	52.6	58.5	△ 5.9	76.8	60.9	15.9	5.9	8.8	△ 2.9
	24年	55.0	57.6	△ 2.6	X	64.5	…	6.7	8.6	△ 1.9
	25年	53.5	55.1	△ 1.6	70.8	65.8	5.0	13.3	8.7	4.6
	26年	46.8	53.1	△ 6.3	67.3	62.9	4.4	11.4	8.7	2.7
	27年	48.7	52.5	△ 3.8	X	63.8	…	10.5	7.3	3.2

区分	ぜん息			心電図異常			蛋白検出			
	千葉県	全国	差	千葉県	全国	差	千葉県	全国	差	
幼稚園	23年	3.8	2.8	1.0	…	…	…	0.2	0.8	△ 0.6
	24年	2.7	2.3	0.4	…	…	…	0.3	0.6	△ 0.3
	25年	3.0	2.1	0.9	…	…	…	0.3	0.9	△ 0.6
	26年	2.7	1.9	0.8	…	…	…	0.3	0.7	△ 0.4
	27年	2.6	2.1	0.5	…	…	…	0.4	0.8	△ 0.4
小学校	23年	6.7	4.3	2.4	1.4	2.5	△ 1.1	0.6	0.8	△ 0.2
	24年	5.7	4.2	1.5	1.2	2.3	△ 1.1	0.6	0.8	△ 0.2
	25年	7.6	4.2	3.4	1.7	2.6	△ 0.9	0.7	0.7	0.0
	26年	6.0	3.9	2.1	1.4	2.3	△ 0.9	0.7	0.8	△ 0.1
	27年	6.4	4.0	2.4	1.0	2.4	△ 1.4	0.8	0.8	0.0
中学校	23年	3.2	2.8	0.4	1.8	3.4	△ 1.6	3.3	2.6	0.7
	24年	3.9	3.0	0.9	2.4	3.3	△ 0.9	1.8	2.5	△ 0.7
	25年	4.6	3.2	1.4	1.9	3.4	△ 1.5	2.1	2.5	△ 0.4
	26年	4.4	3.0	1.4	1.4	3.3	△ 1.9	2.0	3.0	△ 1.0
	27年	4.4	3.0	1.4	1.5	3.2	△ 1.7	1.9	2.9	△ 1.0
高等学校	23年	2.3	1.9	0.4	2.0	3.1	△ 1.1	1.8	2.9	△ 1.1
	24年	1.9	1.9	0.0	2.1	3.0	△ 0.9	1.6	2.7	△ 1.1
	25年	2.3	1.9	0.4	1.9	3.2	△ 1.3	2.0	2.7	△ 0.7
	26年	2.6	1.9	0.7	1.7	3.3	△ 1.6	1.9	3.1	△ 1.2
	27年	2.7	1.9	0.8	1.9	3.3	△ 1.4	1.6	3.0	△ 1.4

(注) 1. 小数点以下第2位を四捨五入している。

2. 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。

3. 肥満傾向児の出現率

- ・肥満傾向児の出現率は、男子は、8歳及び13歳で全国平均値を上回ったが、他の年齢では全国平均値を下回った。女子は、12歳、13歳、16歳で全国平均値を上回ったが、他の年齢では全国平均値を下回った。
- ・肥満傾向児の出現率の推移について、8歳、11歳、14歳、17歳の値を見ると、男子は、平成26年度に比べていずれの年齢も減少している。女子は、平成26年度と比べて8歳は増加しているが、11歳、14歳、17歳は減少している。

図2 肥満傾向児の出現率 全国平均との比較

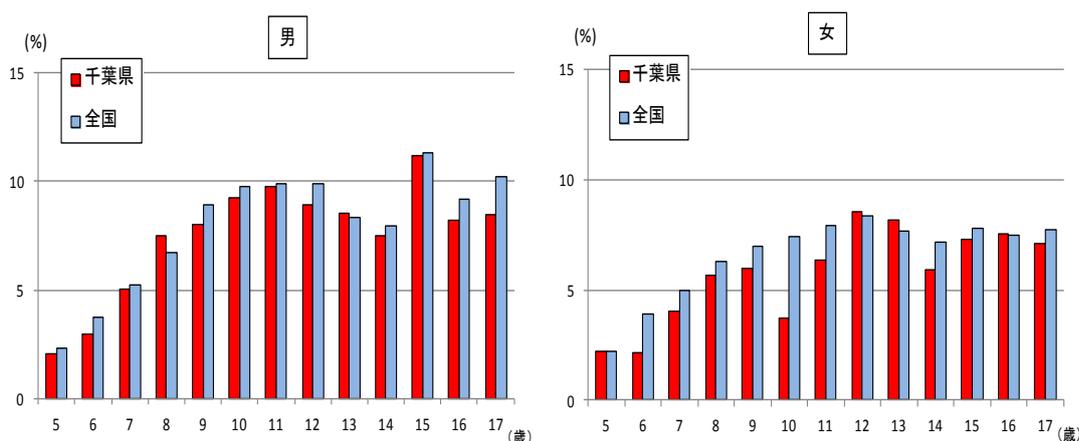
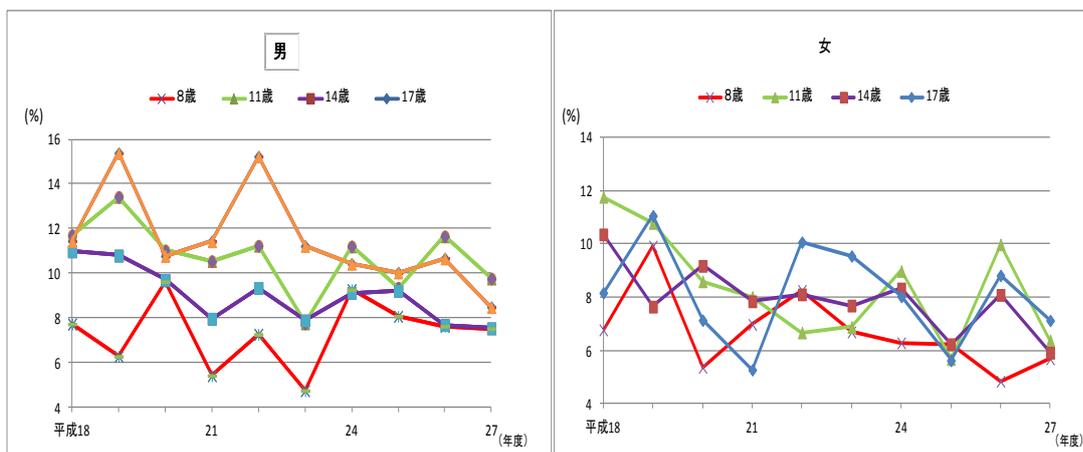


図3 肥満傾向児の出現率の推移



(注1) 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100 (\%)$$

(注2) 肥満傾向児の算出については、平成18年度から現行の方法に変更されている。なお、年齢

(8歳、11歳、14歳及び17歳)については、文部科学省の公表資料における表章に準じた。